

民生福祉常任委員会記録  
(所管事務調査)

令和元年5月8日

【開催日】 令和元年5月8日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後1時30分～午後4時15分

【休憩時間】 午後2時50分～午後3時

【出席委員】

委員長	吉永美子	副委員長	山田伸幸
委員	大井淳一朗	委員	杉本保喜
委員	恒松恵子	委員	松尾数則
委員	矢田松夫		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】

議長	小野泰		
----	-----	--	--

【執行部出席者】

福祉部長	兼本裕子	福祉部次長兼社会福祉課長	岩佐清彦
福祉部次長兼子育て支援課長	川崎浩美	健康増進課長	尾山貴子
健康増進課長補佐	銭谷憲典	健康増進課主査兼健康増進係長	大海弘美
健康増進課健康増進係長（成人担当）	山本真由実	健康増進課健康増進係長（母子担当）	古谷直美
健康増進課健康増進係長（食育担当）	加藤諭香江		

【事務局出席者】

事務局長	沼口宏	議会事務局主査	島津克則
------	-----	---------	------

【付議事項】

- 1 所管事務調査 第2次山陽小野田市健康増進計画について（健康増進課）
- 2 所管事務調査 第2次山陽小野田市食育推進計画について（健康増進課）

- 1 所管事務調査 第2次山陽小野田市健康増進計画について（健康増進課）

【議事の概要】

- ・第2次山陽小野田市健康増進計画の概要及び内容説明並びにパブリックコメントの結果についての説明

【主な質疑】

大井淳一朗委員 第1次と第2次で大きく変わった点は何か。

山本健康増進課健康増進係長（成人担当） 第1次は「居場所・役立ち感・情報」をキーワードに健康づくりの環境整備が主であった。第2次は国、県にならい各分野での取組を考え、市民、地域、関係機関、行政の取組

を明確に打ち出し、数値目標を設定した点が異なっている。

杉本保喜委員 アンケート調査の回収率が45.4%だが、未回収者の年代的な分析はしているか。

尾山健康増進課長 未回収の分析は行っていない。

杉本保喜委員 アンケートは無作為であっても年代別に抽出し、年代別で健康づくりに対する関心度を年度ごとに分析するなど行ってもらいたい。

尾山健康増進課長 健康づくりに関する市民意識調査の分析で年代別に集計しており、これを引けば未回収者数は出てくる。年代別の関心度については今後の参考としたい。

山田伸幸副委員長 がん検診受診率向上の取組と結果、改善方法について聞きたい。

尾山健康増進課長 周知方法や受診しやすい環境づくりなどを行っても結果は伸びていない。個別通知等試しながら受診率向上に取り組んでいきたい。

大井淳一郎委員 疾病について、本市固有の問題点は何か。

尾山健康増進課長 肺がん、大腸がん、高血圧、糖尿病、う歯・歯周病、認知症について重点的に取り組んでいきたいと考えている。

大井淳一郎委員 認知症に取り組むと考えた理由は何か。

尾山健康増進課長 全国的な流れであり、有病率を本市の高齢者人口に当てはめて考えても、重点的に取り組むべき課題である。

山田伸幸副委員長 市がSOS健康フェスタにどのように関わっていくのか。

山本健康増進課健康増進係長（成人担当） 市は共催団体ではあるが、若い世代が来場し、健康づくりを考える上で大切な場と捉えており、積極的に取り組みたい。

杉本保喜委員 SOS健康フェスタに歯科のブースを出してはどうか。

山本健康増進課健康増進係長（成人担当） 健康相談のブースで歯科医が相談を受けている。また、歯科衛生士のブースではフッ素塗布を行っている。

山田伸幸副委員長 自殺対策として相談は受け付けているか。

古谷健康増進課健康増進係長（母子担当） 健康増進課で受け付けている。また宇部健康福祉センターで月に1回、精神科医の相談もあり、当市から紹介も行うなど、県とも連携し相談を受けている。子どもに関しては学校とも連携し、子どもが相談しやすいラインやSNSの相談窓口もPRしている。

山田伸幸副委員長 子どもに比べ大人の相談窓口が分かりにくいのではないか。

古谷健康増進課健康増進係長（母子担当） 大人の電話相談の窓口は「すこやか山陽小野田」に掲載している。また、心のサポーター養成講座を行っ

ているが、相談窓口も知ってもらい、身近に役立つ人を養成していきたい。

大井淳一郎委員 市職員に対し、心のサポーター養成講座を行っていたが、今はどうなっているか。

古谷健康増進課健康増進係長（母子担当） 最近は行っていない。

大井淳一郎委員 心のサポーター養成講座を職員にも地域にも広げていくべきではないか。

尾山健康増進課長 検討したい。

杉本保喜委員 サポーターを養成した後の教育はどうしているのか。

古谷健康増進課健康増進係長（母子担当） スキルアップ研修を2回コースで実施している。

杉本保喜委員 サポーターの習熟度は把握しているのか。

尾山健康増進課長 今後の課題であり、スキルアップ研修の内容や対象者を考えていこうという方向性は持っており、検討したい。

山田伸幸副委員長 相談が深夜にあった場合、市の対応はどうなるのか。

兼本福祉部長 夜間に市役所へ連絡があった場合、警備員から担当課長や主幹に連絡が入ることになっており、対応が必要であれば管理職が指示を出している。自殺対策に限らず、生活に問題を抱えている方の相談については丁寧に応じていきたい。

松尾数則委員 29年度に本市の自殺者数が増えた理由は何か。

古谷健康増進課健康増進係長（母子担当） 母数が少ないためであり、国からは5年スパンで経過を見るように言われている。平成30年の速報値では下がっている。

杉本保喜委員 高校生の自殺のニュースをよく見るが、高校生の心のサポーターを養成してもらいたい。

山田伸幸副委員長 子ども食堂について、市はどのように考えているか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 子どもの孤食の現状は把握しているが、地域でサポートできる体制作りまで取り組んでいないのが現状である。子どもに限らず、高齢者も含めた共食の場を増やしていくことも検討していきたい。

杉本保喜委員 健康マイレージ事業の協賛企業や景品を増やし、参加者の増加を図るとあるが、事業の今後について聞きたい。

古谷健康増進課健康増進係長（母子担当） 健康マイレージ事業は今年度も6月1日から開始するよう準備している。所管事務調査で頂いた意見を参考に、大人向けと子ども向けのチャレンジシートを準備し、積極的に取り

組んでいきたい。協賛企業は前回から増えていない。

吉永美子委員長 健康マイレージの協賛企業について、各組合に話をしているか。

古谷健康増進課健康増進係長（母子担当） これからする予定である。

山田伸幸副委員長 商工労働課など他課との連携を取っているか。

尾山健康増進課長 これから話をする予定である。

大井淳一郎委員 アルコール依存症の対策を検討しているか。

古谷健康増進課健康増進係長（母子担当） 未成年や妊婦に対する教育と、大人に対する適正飲酒の普及啓発が重要と考え、目標指数や今後の取組を記載し、出前講座のメニューにも追加している。

大井淳一郎委員 アルコール依存症になった場合の対策はあるか。

古谷健康増進課健康増進係長（母子担当） 断酒会等に対する支援だけであるが、相談があれば対応している。

山田伸幸副委員長 「ソーシャル・キャピタル」という難しい言葉を使っているが、計画を誰に読んでもらいたいのか。

尾山健康増進課長 広い年代層に読んでもらいたい。「ソーシャル・キャピタル」は全国的に使われている。簡単に言うと「地域力」ということであるが、「地域力」が高い地域の住民の健康の度合いは高くなると統計上出ているので、「地域力」を付けていくことを計画に入れたいという強い思いで使用している。

吉永美子委員長 がん検診の受診率の目標 13%は全てのがん検診の受診率を13%以上にするのか、それとも平均か。

古谷健康増進課健康増進係長（母子担当） 平均である。

吉永美子委員長 個別の目標は持たないのか。

古谷健康増進課健康増進係長（母子担当） 全てのがんの受診率が低いので、平均13%以上という目標とした。

吉永美子委員長 う歯対策について、学校とはどのように連携しているか。

山本健康増進課健康増進係長（成人担当） 教育委員会で実施している子ども向け健康講座に歯と口腔に関する講座をメニューとして追加している。

尾山健康増進課長 養護教諭とも連携を深めていきたい。

杉本保喜委員 妊婦に対し、喫煙しないという教育はどこで行うのか。

大海健康増進課主査兼健康増進係長 妊娠届を出したときにアンケート調査を行い、喫煙者に個別指導をしている。妊婦教室、1歳半健診、3歳半健診時にも禁煙の指導をしている。

杉本保喜委員 追跡調査をしているのか。

大海健康増進課主査兼健康増進係長 追跡調査は行っていないが、喫煙率を把握できるようにはなっている。

矢田松夫委員 第2次で追加となったがん検診の受診率向上策はあるか。

古谷健康増進課健康増進係長（母子担当） 受診しやすい環境づくりとして、職場健診等との同時開催ということで、協会けんぽとがん検診と国保の特定健診を同時に開催する。また、託児付きの女性のがん検診を開催する計画である。

矢田松夫委員 1か月で3名の市職員が心の病で休職しているが、把握しているか。

尾山健康増進課長 人事課が把握している。

恒松恵子委員 食生活改善推進協議会等の地区組織のなり手は足りているか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 欠員の補充に苦勞しているのが現状である。

吉永美子委員長 健康マイレージについてはスピード感を持って取り組んでもらいたい。

## 2 所管事務調査 第2次山陽小野田市食育推進計画について（健康増進課）

### 【議事の概要】

- ・第2次山陽小野田市食育推進計画の概要及び内容説明並びにパブリックコメントの結果についての説明

### 【主な質疑】

吉永美子委員長 計画期間を5年間とした理由は何か。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 国、県の計画が5年間であり、その変化に対応できるように計画期間をそろえている。

山田伸幸副委員長 朝食を毎日食べる子どもの割合は国、県と比べるとどうか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） およそ県平均と聞いている。

山田伸幸副委員長 地域との連携は考えているか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） まだ、その段階に至っていない。

現状を地区組織と共有し、朝食の大切さという情報提供を地区組織と行っているところである。

大井淳一郎委員 最終評価結果の対象が指標により異なっているのはなぜか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 最も値が低く、課題となっているところを抜粋している。

吉永美子委員長 ねたろう食育博士の認定者数が現状値537人、目標値93

7人とあるが、子どもにも力を入れるべきで、子どもの人数が書いてないのはなぜか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 意識していなかったが、子どもは175人認定している。

吉永美子委員長 子どもの認定者数の目標値はあるのか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 子ども、子育て世代が課題と感じており、啓発等に力を入れていきたい。

吉永美子委員長 概要版子ども用に認定者数を掲載しているので、今後改善すべきではないか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 学校等での啓発時に数値も伝え、啓発していきたい。

大井淳一郎委員 出前講座等の受講者をねたろう食育博士に認定してはどうか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） ねたろう食育博士養成講座は幅広い内容で、半日以上かけている。出前講座ではそこまでできないが、啓発はしていきたい。

大井淳一郎委員 食育博士はそれほど厳格なものなのか。広く認定することはできないのか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 内容については具体的な課題を網羅したいというところがあるが、多くの人に一部分でも受けてもらうことも必要と考えるので、今後検討したい。

吉永美子委員長 子どもの食育博士を学校で活用しているか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 給食時の放送で活用していた学校もあったが、最近は実施しているという話を聞いていない。

山田伸幸副委員長 間食の記述がないが、間食は健康を害するのではないか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 子どもについてはどのような間食を食べているかを把握しているが、大人については把握していない。

山田伸幸副委員長 帰宅したらお菓子だけという子どももいると聞いている。今後の調査では、そういう項目も加えてもらいたい。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 中間評価の調査では含むように検討したい。

松尾数則委員 農林漁業を体験して生産者と交流とあるが、どういうことを行う予定なのか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 例えば、南高泊干拓で野菜等の生産を見学する施設があるので、社会見学を行うことなどを考えており、市としてはそういった施設を紹介することになる。

松尾数則委員 実際に農産物を生産するという事ではないということか。  
加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 生産よりは収穫の体験が中心となる。

大井淳一郎委員 南高泊干拓以外にそのような施設はあるか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 埴生干拓の商業施設がある。

吉永美子委員長 他課と連携し、食品ロスをなくすために何か具体的に活動をしているか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 今後は、食育推進に関する庁内連絡会議で調整し、連携をしていきたい。これまでは環境展で健康増進課の食育と環境課と連携した取組を行っている。また、食育博士養成講座では環境課、農林水産課と連携し、食べ残しについて体験を通し学ぶ機会を設けている。

吉永美子委員長 フードバンクのPRには取り組まないのか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 今後、食育推進に関する庁内連絡会議で取り上げたい。

杉本保喜委員 他市に比べ、本市の計画では農林水産業などの現状把握がしっかりできていないのではないか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 計画策定時に関係課からデータを集め、現状把握ができていないのかという議論もした。今後、中間評価等で把握していくということで目標は掲げている。今後、把握していきたい。

矢田松夫委員 食育に関し地域とのつながりはどうなるのか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 家庭や個人のみで食育を行っていくことが難しいという現状を踏まえ、地域の力、地元の食材を使い、地元のボランティアと連携し行っていくという表現にしている。

矢田松夫委員 具体的にどのように行うかが記載されているか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 32、33ページの「地域における食育の推進」の中に記載している。

山田伸幸副委員長 学校給食センターができて以降の食育の取組事例を紹介してもらいたい。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 栄養教諭、学校栄養職員が集中的に配置され、各校平等に食育に取り組んでおり、小中一斉に食育だよりを発行していると聞いている。

大井淳一郎委員 高齢期の食育とあるが、市の具体的なフレイル対策は何か。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 食生活改善推進協議会の研修会で



高齢者の低栄養対策について取り組み、啓発している。食生活改善推進協議会を通じ、各公民館での料理教室、食育教室で低栄養についての情報提供や調理体験を実施してもらっている。また、出前講座の中でも啓発している。

大井淳一郎委員 引きこもりがちな高齢者に対する対策はあるか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 高齢福祉課と個別ケースについて検討する場に管理栄養士も同席し、栄養改善が必要であれば、家庭訪問し、支援している。

大井淳一郎委員 地域の共食の場を提供しているボランティアのなり手不足があるが、市はどう考えているか。

尾山健康増進課長 地域活動に参加することが、結果的に自分の健康につながるということを広め、自分のために地域活動に参加しようという人を増やしていきたい。

大井淳一郎委員 ボランティアポイント制度のように、地域活動に参加を促す取組を考えてはどうか。

尾山健康増進課長 健康マイレージ等、いろいろなインセンティブの方式があるので、組み入れていく方向性が取れるかどうか研究したい。

杉本保喜委員 給食センターに子どもたちは見学に行っているのか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 詳細は把握していないが、既に見学に行っている学校もあると聞いている。

杉本保喜委員 見学は定期的にすべきではないか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 給食センターも学校と連携を図り、定期的な見学となるように進めている段階と聞いている。

吉永美子委員長 食育推進会議には教育委員会が入っているのか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 食育推進会議は関係団体となるので、小中学校については先生に入ってもらう予定である。庁内連絡会議に給食センターに入ってもらう予定である。

吉永美子委員長 給食の食器にねたろう食育博士がプリントされている。配送のトラックにも付けるべきではないか。

尾山健康増進課長 庁内連絡会議で各課と協議するので、その中で意見を伝えたい。

山田伸幸副委員長 食育推進の目標について、現状値がなく、目標値が増やすという項目もあるが、どういう考えか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 計画を策定する段階で庁内のデータでは把握が難しく、現状値が掲載できなかったもので、中間評価を行

うまでに現状を把握し、それよりも増やすことを目指す考えである。

山田伸幸副委員長 現状値が記載されていない項目について、実際に取り組んでいるところがあるのか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 現在、把握できていない。

杉本保喜委員 具体的な計画を持って目標値を増やすという施策を講じてもらいたい。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 庁内で連携を取り、全体を把握し、具体的な目標数値を掲げていけたらと思っている。

大井淳一郎委員 地産地消と言っても、市内で全て対応できるものではない。食育や地産地消について、広域的な連携を視野に入れているか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 学校給食については県内産の食材を積極的に使う週間が年に数回あるが、他市町との具体的な連携は把握できていない。

大井淳一郎委員 福祉部で広域連携というのは考えたことはないのか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 今後、庁内関係各課がそれぞれの分野において持っている数値や現状を共有できたらと思っている。

吉永美子委員長 庁内連絡会議はどのくらいの頻度で行うのか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 年に2回開催する予定である。

吉永美子委員長 関係団体で構成する食育推進会議はいつ設置するのか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 6月末の予定である。

吉永美子委員長 評価はいつ行うのか。

尾山健康増進課長 3年後に評価を行うが、進捗状況の評価は毎年度行う予定である。

吉永美子委員長 食育推進会議の委員は決まっているのか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 具体的な委員は決まっていないが、計画検討委員会の団体を想定している。

吉永美子委員長 小学校から委員として出ているか。

加藤健康増進課健康増進係長（食育担当） 山陽小野田市教育研究会給食部会が小・中学校の先生である。

令和元年5月8日

民生福祉常任委員長 吉永美子